

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）				事業番号	038-013
担当部署名	教育委員会事務局	局	学校管理部	部	学務課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(4)安心して学べる教育環境の充実	
			有	取組の方向性	⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025		無	現状値	—		目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—	
			無	取組	—				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			—					
3	事業開始年度			平成 14 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			—					

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	小規模校再編事業実施2校の児童				対象数	単位
						198	人
7	事業の目的	児童の通学の安全を確保する。					
8	事業内容	小規模校再編事業を行った2校で開校日の登下校時に安全指導員を配置するなど、通学路の安全を確保する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	シルバー人材センター					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	児童生徒の通学の安全確保						
	当該目標を設定した理由	小規模校再編に伴い通学の安全確保を要する箇所があるため					
	目標に対する実績	児童生徒の通学の安全確保ができている					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	安全指導員の配置により安全を確保した児童数	人	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			実績値	221	214	198	
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	小規模校再編に伴う通学の安全確保を要する箇所が通学路となっている児童数。					
	目標値の設定根拠・算出方法	配置箇所が通学路となる児童数					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-013
-------	----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	2,812	2,738	4,400	4,198	13,158
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	7,600
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	2,812	2,738	4,400	4,198	5,558
14	人件費（b）	1,620	1,620	1,680	1,680	1,740
15	年間経費（c）=（a）+（b）	4,432	4,358	6,080	5,878	14,898

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	施設等修繕料	R8	予算	200	200		R8	予算		
		R7	決算	0	0		R7	決算		
	新湊小に係る通学路安全指導業務	R8	予算	3,343	3,343		R8	予算		
		R7	決算	2,247	2,247		R7	決算		
	はるみ小に係る通学路安全指導業務	R8	予算	1,115	1,115		R8	予算		
		R7	決算	710	710		R7	決算		
	測量・登記関連業務	R8	予算	0	0		R8	予算		
		R7	決算	1,241	1,241		R7	決算		
	通学路整備工事費	R8	予算	8,500	900		R8	予算		
		R7	決算	0	0		R7	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 安全を確保した児童数	人	221	214
	② 上記①にかかる年間経費	千円	4,358	5,878
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	19,720	27,467
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	■ 必要な配置時間を精査し委託料を削減したうえで、安全指導員の配置により目標が達成できており、効果が得られている。 ■ シルバー人材センターに委託することで、高齢者に対して就業機会を提供することにつながっている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	配置箇所所で安全に登下校できており、児童の通学の安全確保に寄与した。
----	------------------------------------

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	■ 高い □ 低い	小学校再編に伴い通学する児童の安全確保を要する箇所に指導員を配置する必要性は引き続き存在するため、事業の継続が必要である。
	■ 高い □ 低い	